

《担当者名》 熊谷 歌織 kaori@hoku-iryo-u.ac.jp 三津橋 梨絵

【概要】

がん看護の実践に必要なとなる主要な知識について、講義形式で学びながら、がんとともに生きるという意味と看護の役割について考察する。

【学修目標】

1. がん患者の体験としてがんサバイバーシップの概念およびプロセスを説明できる。
2. がん患者に対する緩和ケアの重要性および内容を説明できる。
3. がんの集学的治療の特徴と看護支援について説明できる。
4. がん患者の家族に対する支援の重要性について理解できる。
5. がん患者に対するエンド・オブ・ライフケアの概要を理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1. がん医療と患者・家族を取り巻く状況と体験(1)	1) がん患者とヘルスプロモーション 2) がんサバイバーシップの概念	熊谷
2	1. がん医療と患者・家族を取り巻く状況と体験(2)	3) がん患者のセルフ・アドボカシーを高める支援	熊谷
3	2. がん患者の症状マネジメント(1)	1) 患者主体の症状マネジメントと看護師の役割	熊谷
4	2. がん患者の症状マネジメント(2)	2) 患者のセルフケアを高める支援	熊谷
5	3. がんの集学的治療と看護(1)	1) がん集学的治療の特徴と意思決定のための支援 2) がん手術療法の特性と手術療法を受ける患者の生活支援	熊谷
6	3. がんの集学的治療と看護(2)	3) がん化学療法の特性と化学療法を受ける患者の生活支援(1)	熊谷
7	3. がんの集学的治療と看護(3)	4) がん化学療法の特性と化学療法を受ける患者の生活支援(2)	熊谷
8	3. がんの集学的治療と看護(4)	5) がん放射線療法の特性と放射線療法を受ける患者の生活支援	熊谷
9	4. がんとの共存を目指す患者の看護	1) 難治性がんの内科的治療を受ける患者の理解と看護 2) がんサバイバーの療養生活と支援	熊谷
10	5. がん患者と緩和ケア(1)	1) 緩和ケアの定義と重要性	熊谷
11	5. がん患者と緩和ケア(2)	2) チームアプローチの理解と看護の専門性	熊谷
12	6. がん患者の家族に対する支援(1)	1) がん患者とともに生活する家族に対する支援	三津橋
13	6. がん患者の家族に対する支援(2)	2) 死別を体験した家族に対する支援	三津橋
14	7. がん患者の エンド・オブ・ライフケア(1)	1) エンド・オブ・ライフにあるがん患者の心理・社会・スピリチュアルな側面へのアプローチ	三津橋
15	7. がん患者の エンド・オブ・ライフケア(2)	2) 尊厳ある死を迎えるための看護師の役割	三津橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

定期試験の問題は、復習に活用することを目的として試験終了後に開示する。

【教科書】

鈴木久美 他：がん看護，南江堂，2021。

【参考書】

小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学，第2版，医学書院，2017．
恒藤暁，内布敦子編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア，医学書院，2014．
榮木実枝監修：がん看護ビジュアルナーシング，学研，2015．
宮下光令編：ナーシング・グラフィカ「緩和ケア」，メディカ出版，2013．
佐々木常雄編：がん化学療法ベストプラクティス，照林社，2008．
濱口恵子，本山清美編：がん化学療法ケアガイド，中山書店，2012．
久米恵江，祖父江由紀子編：がん放射線療法ケアガイド，中山書店，2013

【学修の準備】

授業資料および教科書の関連ページを熟読して授業に臨む。事前・事後学習に必要な時間は、各回1時間である。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP 3、2、4

【実務経験】

熊谷歌織（看護師）、三津橋梨絵（がん看護専門看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関における看護師、がん看護専門看護師としての実務経験を活かし、がん経験者や家族がおかれる現状や課題、看護支援に関して具体例を交え、理解を深められるよう授業を行う。